

パブリックコメント 主な意見 (21/12/22~22/01/18)

基本的コンセプト・改革の方向性

- ・教科横断的な学びや探究的な学びの推進は、ぜひとも取り組むべき内容。
- ・探究的・協働的な学びの推進や、学校間連携の強化について大いに期待する。
- ・高校においてもバリアフリー化による教育環境の整備を進める必要がある。

計画実施上の重点事項

- ・スクールミッションの観点は的確である。
- ・戦略的広報は中学生の公立高校への誘導・囲い込みにならないか？
- ・「全ての高校の魅力化と学びの改革」や「キャリア教育と職業教育の充実」を重点事項に上げているのは大いに共感できる。「戦略的な広報」についても絶対不可欠である。

普通科

- ・教員志願倍率の上昇には教員の待遇改善を図るべきである。コース設置で解決できるのだろうか。
- ・地域や社会のニーズに対応したコースの設置について、次期プランでも積極的な取組を期待。
- ・教員や保育のコースは需給バランスから十分と言えず、今後も設置を増やすべきと考える。

理数科

- ・理数教育は今後の国の経済の盛衰を握る。「全校で理数教育の充実に努める」観点が必要。

芸術科

- ・芸術が社会の中で重要な役割を果たしている視点が必要。

農業科

- ・「農業経営者」育成の推進についての観点が必要。
- ・スマート農業はこれからの課題である。施設設備及び予算の確保を願う。

工業科

- ・STEAM教育の推進には、総合学科とともに工業科がもっとも親和性がある学科と考える。

商業科

- ・大学等が多く立地している都市部へ商業科を設置し、連携モデル校として指定してほしい。

水産科

- ・「幅広い水産教育の充実」は大事だと考える。
- ・他県では下宿や寮を用意し全国から生徒を募集している。千葉県でも全国募集が必要。

総合学科

- ・普通科から多様な学習ニーズに対応できる総合学科への転換は有効である。
- ・総合学科の仕組みを活用して、専門学科の学びのニーズにも応え得るような高校の設置を期待。

単位制高校

- ・進学指導重点校への導入は生徒の進路希望や興味関心にこたえられる。
- ・「大規模な単位制高校」は国の方針には無く、唐突で疑問。
- ・新たな大規模単位制高校は前向きに検討してほしい。幕張総合は毎年志願倍率が高く、中学生のニーズが高い。

中高一貫教育校

- ・地元との連携を意識した中高一貫教育校の設置を検討してほしい。
- ・郡部への新たな設置は、学力上位の生徒が集まった結果、周辺の中学校の活力低下が懸念されるため、慎重にあるべき。

観光・環境・防災に関する教育

- ・自分の命を守り、地域住民との間で助け合うことが非常に大事。その上で「自分自身に何ができるのか」を考える機会を与えるのがよい。

地域連携アクティブスクール

- ・アクティブスクールを選ぶ子どもには、自立は目指しても期待に応えることまで背負わせられない。「地域の期待に応える」を削除してほしい。
- ・自立した社会人を育てる地域連携アクティブスクールの設置は大変大きな意義を持つ。

定時制高校

- ・夜間に限らない新しい形態の定時制高校があった方が、志願者のニーズにこたえられる。

通信制高校

- ・通信制のニーズが高まっている。通信制協力校の制度をもっと効果的に周知すべき。
- ・ICTの効果的な活用は、通信制高校職員の負担を軽減できるため、評価できる。

適正規模・適正配置

- ・都市部の高校を減らし、郡部の高校を増やすことはできないか。
- ・地域の特性を活かした千葉県全体の均衡ある発展という視点から検討すべき。
- ・統合に向けての十分な話し合いの期間の設定が必要。
- ・「過疎地特例」など、適正規模の例外規定が欲しい。
- ・小規模校の統合の検討開始基準や検討手順、当面存続の条件、特例校、学校間連携体制の構築推進等を載せてほしい。
- ・高校と地域住民が協力し、郡部の活性化を図れるような政策を期待する。
- ・ただ単に生徒が減少するだけでの統合ではなく、プラスのイメージを持って推進してほしい。
- ・多くの友人と切磋琢磨を重ねていくには一定程度の規模は不可欠、統合はやむを得ない。
- ・私立高校の統合や学校規模縮小は難しい。公立高校の大幅な定員減(6,000人程度)が必要。
- ・公立と私立が協調し、公立高校は適正規模・適正配置の方針に従った対応を、私立高校は募集定員の厳守をすべき。
- ・県立高校の近隣に私立高校があっても、経済的に私立を選べない家庭もある。適正配置を検討する際はその点も十分考慮してほしい。
- ・30人、35人定員などの実現を希望。

その他

- ・特色ある職業系専門学科が設置されている小規模校の存続を希望する。
- ・「改革の方向性」等の進捗状況を評価し改善を続けるPDCAサイクルを回すべき。
- ・公教育の片翼を担う私立学校の視点が必要。
- ・教育が夢と理想を掲げないで誰が明るい未来を語るのか。そういう視点で考えると希望をもって未来を語り合えるプランになっていると評価できる。